

担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 小原 堅太さん（金ヶ崎町）

執筆者：奥州農業改良普及センター・佐藤亮太

平成 29 年度に新規就農した金ヶ崎町西根の小原堅太さんを紹介します。

小原さんは高校卒業後、首都圏で他産業に従事していましたが、実家が農家だったこともあり、自分で農業を行いたいと決意し、10a の規模でねぎの栽培を開始しました。

就農 1 年目は初めての栽培で作業遅れ等があり、単収は 500kg/10a に満たなかったのですが、翌年には栽培面積 30a に拡大したにもかかわらず、単収 2,800 kg/10a を超え、着実に栽培技術を身につけました。

就農時から機械化栽培体系を目指していた小原さんは、栽培・出荷調製に係る機械を順次導入し、3 年目の令和元年度には事業を活用して管理機やブームスプレヤー等を導入しました。

生産体制の効率化と積極的な規模拡大に取り組み、5 年目となる令和 3 年度には、栽培面積が 2 ha となり、胆江地域でトップクラスのねぎ生産者となっています。

今後は、更なる規模拡大や、パート・アルバイトの通年雇用に向けて加工品の開発も検討をしており、農業経営の発展が期待されます。



令和元年度事業で購入した管理機



事務所前にて